

# 28年振りの快挙！ 野球部 関東大会へ

こんにちは、高校野球部主将の谷田孝太郎です。皆さんもご存知の通り我々野球部は神奈川大会を制し二十八年振りに関東大会へ行きました。結果は準決勝で敗れ三位でしたが全力は尽くせたと思います。

思い起こせば秋の初戦が桐蔭と決まった時に誰がこの結果を予想できたでしょうか。この大会で高二は引退したので初戦では負けたくないと思いつつ、相手が相手だけに正直無理であろうという声も聞こえました。しかし開き直りとは恐ろしく不可能を可能にしてしまったのです。これで勢いに乗ったのか10年振りに決勝へと駒を進めました。10年前は慶應相手に9回ウ

ラ2アウトまでリードしながら逆転負けを喫したというので、チーム内では最後まで足を動かそうという言葉が飛び交っていました。試合は雨にもかかわらず吹奏楽部をはじめ多くの先生方や生徒の皆さんに応援していただきありがとうございました。お蔭様で神奈川を制する事が出来ました。神奈川の決勝が終わるいざ関東大会へ行くとなると、当然の事ながら誰もがとまどっていたと思います。しかしさすがは聖光野球部。試合になると自分達の野球をして終ってみれば一回戦は8対2の圧勝でした。翌日の準決勝こそ3対4で負けましたが二十八年前には成し遂げられなかった1勝



を手にする事ができました。とりあえず1勝できたので満足をいきませんが期待は裏切らないと思うので良しとして下さい。

今回の関東大会にあたり、先生方、校友会の皆様そして生徒の皆さん、今まで温かい御支援、御声援ありがとうございました。この大会をもつて高二は十五人全員引退しますが高一、中三が僕達の成長遂げられなかった関東制覇にむけて日々練習してまいりますのでこれからも応援宜しくお願いします。

## シリーズ

# 卒業生のお店紹介

### 第9回

## 馬車道 レディースクリニック 不妊症専門クリニック

このたび、十五年間勤務致しました大学病院を円満退職し、地元横浜で本年四月二日に念願の不妊症専門の馬車道レディースクリニックを開業致しました十五期の池永秀幸と申します。

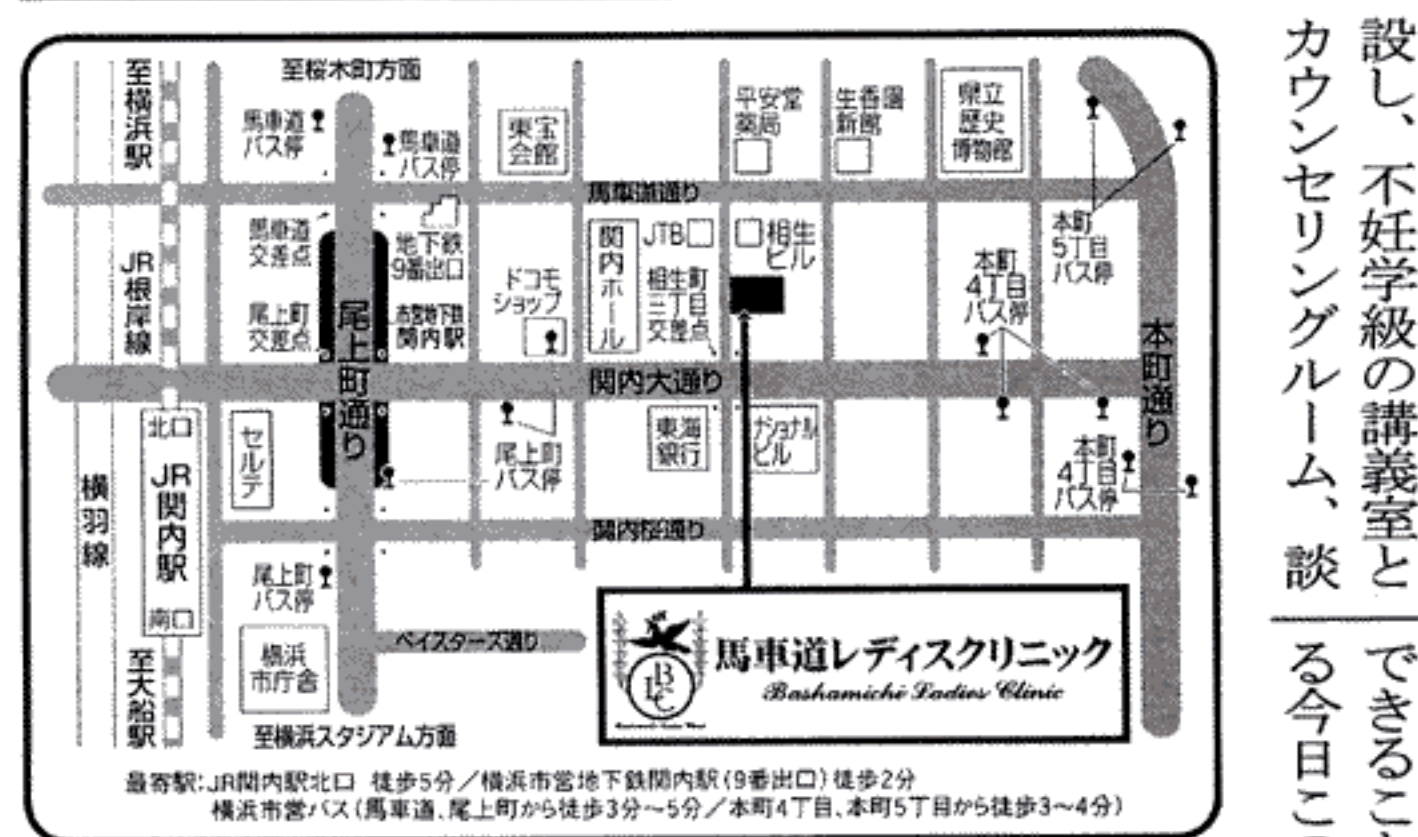
ご存じのとおり昨今出生率の低下により、高齢化社会が叫ばれる中、長い目で見れば小泉総理の言う構造改革は、人口構成の構造改革にも目を向けるべきなのではないでしょうか。即ち子育てをしながら働く環境を整えることも確かに重要な行政課題ですが、子供がほしくても叶わない不妊症

の方たちへの医療費の補助も必要な政策なのではないでしょうか。

不妊症治療は、保険適応が狭く、特に私が大学病院勤務時代の研究テーマであった体外受精および顕微受精などの高度生殖医療は高額な治療費がかかりますが、このような治療に対する排卵誘発剤の投与にすら保険適応がありません。何とか患者さんの負担を軽減する方法はないものかと苦慮する毎日です。

一方、医療現場とくに大病院では、待ち時間が長いし、画面を患者さんにもいつしよに見てもらおうと、

常時カルテの開示を行って



〒231-0012 横浜市中区相生町4-65-3  
馬車道メディカルスクエア5F 馬車道レディースクリニック  
馬車道メディカルスクエア6F 馬車道体外受精センター  
☎045-228-1688(予約専用24時間受付) ☎045-228-1680(代表)  
ホームページ <http://www.15-u.page.so-net.ne.jp/wbe4/blc-ike/>  
Eメールアドレス [blc\\_ike@wb4.so-net.ne.jp](mailto:blc_ike@wb4.so-net.ne.jp)

話室を設けました。また患者さんの数は多くもないのに借金ばかりが増えていくような気がします。しかしながら自分が理想としていた診療体制が築けたことに非常に満足しており、不妊症治療を通じて地元貢献できることに充実感を覚える今日この頃です。

平成13年  
5・1 校友会報第19号  
発行  
5・18 広報委員会  
6・2 評議員会  
第13回「卒業生の集い」(於、ホテル・横浜ガーデン)

## 会務報告

10・9 広報委員会  
15・28 理事会

## 猪苗代キャンプ場 その後



分だめだろ。」  
「昨年、一昨年来、現在使われている生徒用流しができた。幼稚園で使われていたテーブルの足を短く切り、座卓とした。ついで、西側(山側)に2間ほどの幅で全体に拡張した。雪下ろしが楽になるように棟を1間程高くし、屋根の葺き替えをした。学校で使われなくなった柔道畳を食堂に敷く。次第に使用しやすくなってきていた。雪の重みに耐えられよう。冬季は食堂の中に中柱を立て補強していた。今年の会津地方は36年ぶりの大雪だったそうである。

食堂の他には、棧橋の延伸、第一ボートハウス、カプセルハウス、北側生徒用トイレ、第二ボートハウス(これは、警備観光船株式会社から丸という船を造船する時に作ったものを譲り受けたもの)、大水槽などがあつた。水道の水圧は高く、チロチロしたものであつた。翌年、現在使われている生徒用流しができた。幼稚園で使われていたテーブルの足を短く切り、座卓とした。ついで、西側(山側)に2間ほどの幅で全体に拡張した。雪下ろしが楽になるように棟を1間程高くし、屋根の葺き替えをした。学校で使われなくなった柔道畳を食堂に敷く。次第に使用しやすくなってきていた。雪の重みに耐えられよう。冬季は食堂の中に中柱を立て補強していた。今年の会津地方は36年ぶりの大雪だったそうである。

## 平成12年度校友会収支報告書

科目	収入	支出	摘要
前期繰越金	24,033,777		
会費収入	4,420,000		@20,000×221名
雑収入	2,931,000		@3,000×977冊
預金利息	43,353		
寄付収入	10,000		
雑収入		741,300	グランド時計
印刷費		376,478	クローバー及び会報
発行費		2,021,711	
郵便費		108,850	
渉外費		106,932	
通信費		31,443	
雑費		1,427,412	
雑費		393,250	
雑費		260,138	
雑費		322,140	ガソリン、燃料、電費、水道、電話
雑費		5,250	
雑費		9,376	
雑費		71,195	
前期繰越金		25,562,655	
合計	31,438,130	31,438,130	

## 校友会行事関係収支報告書

科目	収入	支出	摘要
会費収入	508,000		@8,000×61名、@4,000×5名
雑収入	260,138		
雑費		768,138	
合計	768,138	768,138	

\*平成12年6月10日(日)ホテル横浜ガーデンにて「第12回卒業生の集い」を行いました。上記の通りご報告致します。平成13年3月31日 聖光学院校友会会長 友田 暹